

平成29年

55号

3月1日発行

独立行政法人地域医療機能推進機構
天草中央総合病院附属介護老人保健施設

平成27年5月1日開設

施設長 矢野 辰志

〒863-0033

熊本県天草市東町101番地

電話(0969-22-2111) FAX(0969-22-0660)

Email sawayaka@vega.ocn.ne.jp

ホームページ http://amakusa.jcho.go.jp/roken/

さわやか

奇数月発行

「医療・介護事故防止に向けた取組」について講演

JCHO老健管理者会議 2月3日

何よりも大切な 事は人材育成

施設長 矢野

辰志

初めにリスク管理に関する

当施設での取組を①転倒転落

②誤嚥③離設④施設内感染⑤

誤薬に分けて説明しました。

今後、診断・治療の手遅れも

問題となるので、施設利用者

の診療に専従する医師の確保

が必要となります。当施設で

の急変時の対応について具体

的に説明し、職員の気付きが

医師にすぐ伝わる「風通しの

良い職場環境」を作ることが

重要です。

しかし対策を十分に行って

も事故を防ぐことが出来ない

のが現状です。事故が起こっ

た場合、診療を迅速に行い、

施設長室でモニターを利用し

て説明を行っています。また、

事故報告レポート作成をスミ

ズに行えるようファイルメー

カーを利用しており、誰でも

状況が判るように現場検証を

貼付しています。このレポー

トは介護職員が自発的に作成
したものです。

担当者会議では入所前後訪

問の動画をみて、全職種で各

利用者独自のリスクを共有し

ています。R4システム（I

CF staging）を客観的評価

を行い、グラフを提示してご

家族に説明します。さらに、

ケアマネージャ（現在23名）

を育てていくことによって利

用者・ご家族が満足できる施

設サービス計画作成が可能と

なり、在宅復帰率向上に繋が

ります。

マニュアルはこの施設に

もあります。何よりも大事

なのは人材育成です。現在、

全老健リスクマネジャー（全

国で1800人程度）が当施

設では3名いますが、更に2

名が資格取得を目指して研修

中です。リスクマネジャーに

よる細やかな指導が全職種の

リスク管理に対する意識を向
上させています。

リスク管理の観点から経営

も施設長としては重要な問題

です。30年度介護報酬改訂に

向けてJCHO老健は強化型

へ組織を改変していくべきで

す。その為、本部に①支援相

談員をメインとした研修会の

開催②介護職員のスキルアッ

プを図る為のシステム作り③

JCHOグループとしてR4

システムの導入④施設間の職

員交流を提案しました。



感染症の予防と拡大防止



ご家族様へ

看護師長 川上 幸恵

冬季の感染症に伴い長期間の面会制限となり、入所者様・ご家族様にはご迷惑をおかけしております。また、お互い淋しい思いをされているであろう事もお察し致します。

熊本県の感染症情報は、毎週木曜日の午後更新されます。インフルエンザは年末を境に増加傾向となり、1月下旬から警報レベルに達し、現在も警報レベル解除基準を下回っていない状況です。

当施設でも予防策を徹底していましたが、熊本県が警報レベルに達した同時期に、短期入所者様からインフルエンザが発生しました。感染症が発生すると、療養棟は「完全居室体制」に業務体系を変更します。通常よりも多い人員配置・通常とは異なる業務が必要です。職員は交替勤務や時間外勤務を行いながら、事務職・リハビリ職は職種を超えた業務をこなしながら、職員一丸となり、感染拡大防止に取り組みました。皆様のご協力もあり、「完全居室体制」は短期間で解除となりましたが、期間中不慣れな点もあり、洗濯物の受け渡し等で、ご家族様にご迷惑をおかけした事もありました。また、厳しくも暖かいお言葉を頂いた事もありました。

今後、冬場の感染症対策は施設運営の課題です。入所者様の健康管理はもちろんの事、更なるサービス向上に向け、IT導入での情報提供や面会等を検討している所です。

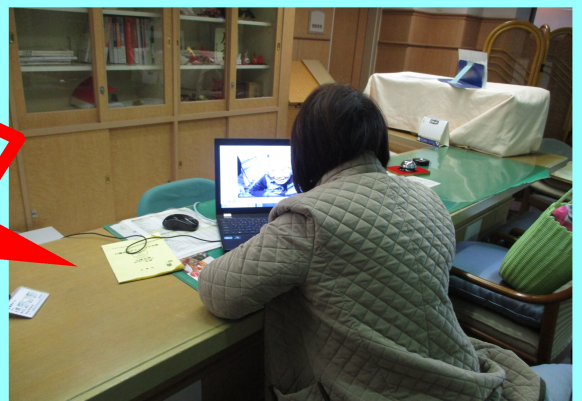
感染発生情報(週報)／熊本県

パソコンやスマートフォンで検索いただくと毎週木曜日に感染症情報が更新されます。

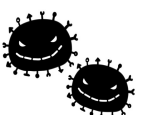
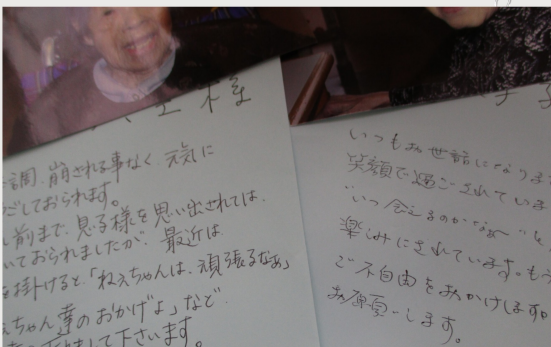
テレビ電話開始！



入所ご利用者様への面会制限の際には今冬から一階受付と入所フロアをスカイプで結び、テレビ電話でご家族とコミュニケーションをとる事ができます。



施設では、こんな感染対策をしています



老健の役割とは・・・

当施設ではチームケアで行う看護・介護・リハビリのほか、当施設ならではの取り組みも行っています。それは本来老健の目的であるリハビリ・在宅復帰支援・在宅生活支援、そして看取りのほか、ボランティアや実習生の受け入れ、地域貢献事業などです。今月は施設入所と在宅生活を3カ月毎にご利用されています、堤田 鶴子様(87)をご紹介します。

ばあちゃん・おはよう、誰しよ？

家族 堤田 千代喜

母が座っているそばに来る度に「ばあちゃん 誰しよ？」傍で聞いてもしつこいと思う程、何度も繰り返す声かけしている調子の良い時は即座に孫の名前が出て来る日があります。

前回の帰宅までは、洗濯物をたたくでくれています。たが、今回はタオルをきちんとたたためず、頭に載せてみたり丸めてみたり誕生日も忘れて出てこなくなりました。すらすら出ていた自分の姉や兄の名前も出なくなっています。

認知症は十年も経つと何もかもわからなくなると聞きました。

母が発症してからすでに十五年程になりますが、少

しずつ進行しているのは確かかなようです。

通所で2階に、リハビリで4階に、そして今は3階にお世話になっておりますが、体調の変化や栄養管理に加えて、リハビリも続けていただいているお陰で仕事をしながら、時々母の帰宅を笑いながら続ける事が出来る感謝しております。

在宅中に他のデイサービス事業所のスタッフの方から「足が強くなったみたい」と言われました。

一日でも長く母がいる暮らしが出来る様にと思っています。これからますますしくお願いいたします。

季節を感じながらの通所リハビリテーション 生活期で求められる活動への支援

高齢者のリハビリテーションに求められているのは単なる機能回復訓練だけではなく、潜在する能力を最大限に発揮させ、日常生活の活動を高める必要があります。そして活動や社会への参加を促し住み慣れた地域で自分らしい生活を続けられるような支援が必要です。ここでは通所リハビリテーションで行っている様々な活動をご紹介します。

七福神

新たな作品作りとして、アイデアガールの樋口作業療法士率いる、女性利用者様方が七福神の作成に取りかかりました。

それぞれの得意作業をいかし、せつせと作品作りに精を出されています。

ちなみに、前回作成した千支の酉は廊下に飾っております。また、この作品は通所リハ・通所介護専門誌の「月刊デイ」に投稿中です。採用され紙面を飾った際には皆様にご報告いたします。

初の収穫！ 聖護院大根

2月の中旬に葉は茂り、大根の根は土からせり出したので、数人の利用者様と収穫しました。プランターで育てたためやや小ぶりでしょう。味は大根と思って食べたらびっくり、全く辛みもなく、例えるならリンゴの甘さを薄くしたような、ほのかな甘みを感じました。

収穫した聖護院大根は利用者様の調理練習に使用しました。



ボランティアの大久保美喜子先生方
によるお箏と童話の読み聞かせ

新年最初の事(箏)始め

1月10日(火) お箏の演奏・本の読み聞かせがありました。

普段見ることのない大きなお箏で、お正月らしい本格的な演奏に利用者様も聴き入っておられました。

本の読み聞かせでは、大塚義子先生が干支にちなんで『ことり』を読み、実際に干支の置物を見せて頂きながら、利用者様方の干支について話したり、フロアは大いに盛り上がりました。

(尾上)

1月誕生会

1月18日(水) 希州社中の皆様が、お祝いに日本舞踊を披露に来て下さいました。

新しい年にふさわしく、色鮮やかな着物での美しい舞にうっとり…。小さな女兒の踊りには目を細めて見ておられました。

当日は100名を超える利用者様で、大賑わいの誕生会となりました。

(尾上)



「鬼は外 福は内」



2月3日の節分を前に「明日は節分だけん、鬼は呼んどうすどでしょ」と何度も聞いて来られる利用者様。「明日は、みんなで豆のかわりにオジャメで鬼をやっつけましょう」と呼びかけると「鬼は何人おると? 体格のよか鬼じゃなからんば、張り合いはなかよ」とひそかにハドルを上げられる利用者様の声。

当日は朝食の最中から「鬼は来ると?」と何度も聞いてこられる利用者様に「鬼は私だけです」とは言えず、何とか利用者様の期待に応えるべく、当日は両脇と背中にくっシヨンを入れて、鬼の面と綿入れの金棒を持ち「無病息災を祈り、鬼めがけて投げて下さい」と説明を行っている最中、開始の合図より先に一斉に投球開始。誰一人として遠慮することなく職員扮する鬼に対し、「鬼は外、鬼は外」「鬼と一緒にインフルエンザも飛んで行け」とちらほら本

音も。投げつけたオジャメを四つん這いになって必死に拾い、投げつける姿は通常のリハビリでは見られない積極さが感じられました。終了後は、どこかスツキリした表情で「ごめんなあ、あんた達もようしてくれろとに」と労いの言葉を頂き、涙が込み上げた時、後ろからオジャメを投げられ、周りはまた大笑い。その晩は久々に早めの消灯となりました。

(栗栖)



地域貢献事業

職員の持つている専門的な介護の知識
や技術を地域の方に還元しています！

高齢者ケアの専門職が町へ飛び出す事業

仕事について

理学療法士 山畑公弘

2月21日（火） 稜南中学校一学年 約20人

理学療法士がどういった仕事なのか、どのようなプロセスで理学療法士になれるのか、仕事の楽しさ、中学生で頑張るべき事などについてお話ししました。私自身高校生まで全く知らない世界で専門学校3年生の臨床実習で始めて理学療法士としての楽しさ・面白さを知った事をお伝えしました。中学生の皆さんも目指したい仕事が無くてあせらず、今一番時間を割いている、勉強と部活を頑張ってください、とエールを送りました。

中学生の皆さんがペンをはしらせ、メモを取り、生き生きとした表情とリアクションの良さにこちらが元気をもらった地域貢献でした。



地域貢献事業では依頼があればどこへでも無料で出張し、講義や実技指導を行います。メンバーは医師・看護師・理学療法士・作業療法士・薬剤師・管理栄養士・介護福祉士・介護支援専門員・認知症ケア専門士等です。

詳しくは、地域連携担当 宗像・芹田・萬谷まで



実習を通して学んだこと

天草市立本渡看護専門学校

2年 山口 知佳

介護老人保健施設で3週間、実習をさせていただきました。今回の実習は、病棟実習とは異なる雰囲気です。戸惑うことが多かったのですが、職員さんや利用者様の皆さんに優しく声をかけて頂き、楽しく充実した実習となりました。入所施設では、利用者様同士の交流や日中の活動を目的とし

てレクリエーションが行われています。そこで私たちもレクリエーションを企画からさせて頂きました。内容は魚釣りゲームをさせてもらいました。進行や役割分担が上手くいかず、反省点が多々ありましたが、利用者様と楽しさを共有したり、企画の難しさを学びました。今回の実習を通して、「観察力・アセスメント力・判断力」の重要性について再確認することができました。この学びを今後の実習に活かし、よりよい看護の提供に役立てていきたいです。



レクリエーション後は、学生手作りの可愛い西の置物を、利用者様にプレゼント。

ボランティア紹介



※当施設では多くのボランティアの先生が活躍されております。
当施設であなたの特技を生かして利用者様と交流してみませんか？
ご希望の方は1階事務所までご連絡ください。

お寺の住職が出張話ボランティア

布施とは 明徳禅寺

昨年の熊本大地震からやがて1年が経とうとしています。各宗教団体や自衛隊など、多くの方達の懸命なボランティア活動・協力のお蔭で少しずつ復興に向かっていきます。

災害の度に【ボランティア】という言葉が脚光を浴びていますが、道元禅師は七百年以上も前に、経典『修証義』でその精神を示しておられます。「無財の七施」という「その布施ということは貧らざるなり」つまり見返りを求めたりする欲心が一切無い事が布施であり、それには七種類があるとされています。そのうちの『心施』は自分の体を使って、世の為に尽くす事。『言葉』は無言はいけない、言葉かけをしようとする事です。更に道元禅師は私達僧侶に

対しても「一句一偈の法をも布施すべし」と説かれました。私はこれを「僧たる者は一言でも仏の道を示しなさい、法を説きなさい」と解釈しています。

私達僧侶は、これらの実践のひとつとして、さわやかランドに来て下さる方へお話しをさせて頂いています。この様な機会を、ご縁を頂いた事に感謝しながら今年も皆様にお会いできます様願っております。

合掌



今年で19年目のボランティア活動

女学校の同級生で仲良し

今日も元気に歌います

「コスモス会」

写真(右)

原田 潤子様
(左) 松下 泰子様

お歌の会の始まり「今日も皆さんとお会いできてうれしです」と利用者様に声をかけられる原田様と松下様。お歌の会のボランティアに来られて19年目を迎えます。何と今年で91歳になられます。元気いっぱいのお二人ですが、今年1月に原田様が高い声が出なくなり、一時は「お歌の会」を辞めようと思われたそうです。徐々に回復し2月27日から元気にお見えになりました。

元気の秘訣をお尋ねすると、お二人が口をそろえて「ここに来て、皆さんと歌を唄う事がいいんです。元気をもらっ

ているのは私達のほう。いつも老健の方、入所者の皆さんに元気をもらっています。」とはつきり。ボランティアには月5回お見えになられています。今度リクエストの多い、演歌を2人で覚えましょうか」と目を輝かせておられたのが印象的でした。





職員スキルアップへの道



全老健リハビリテーション 研修会に参加して

作業療法士 山崎ちひろ

2月9日、10日に東京で開催された全老健リハビリテーション研修会に参加しました。介護保険制度におけるリハビリテーションの課題や、30年改定にリハビリが備えるべきこと、老健リハに期待されること、グループワーク（リハビリテーションマネジメントや多職種協働など）と様々な内容の講義を受講しました。

「自立支援のためのケアやリハビリができていますか？」との問いに対して、日々の業務を振り返るとともに反省点や今後への改善策を考える良い機会となりました。他施設の取り組みを聞いたり、グループディスカッションの中で多職種協働を円滑にするためのヒントも得ました。自立支援のケアを行うには多職種の協力・連携が必要です。

今後も身体機能の維持だけでなく活動・参加に目を向けたリハビリを行い、「自立支援」の認識を持って日々の業務に取り組んでいきたいです。



介護老人保健施設リスクマネージャー 養成講座「Ⅰ・Ⅱ期」に参加して

介護福祉士 松下 幸助
理学療法士 森下 輝

平成28年度全国老人保健施設協会リスクマネジャー養成講座Ⅱ期へ参加し、職員間のコミュニケーション・メンタルヘルスについて、老健施設でのリスクマネジメント（苦情対応・感染予防）、苦情対応のマスコミと施設の視点等の講義や事例を元にグループで苦情対応やコミュニケーション方法について検討を行いました。

災害対応については実際に災害を経験したリスクマネジャーの方が講義をされ、震災映像を流されました。自然災害はいつ起こるか予想ができない為、季節や日中・夜間を想定した訓練の実施、備えておくべき物や数量にも配慮し、想定外が

起きた時に冷静に柔軟な対応がとれるか、普段から事を想定内に置き換えてリスクマネジメント出来るようにトレーニングしていく必要があります。様々な危険に対応していく為のセンスを磨いていく事が大切になってきます。備えあれば憂いなしと言うようにいざという時に備えておくことの必要性を強く感じました。今回Ⅰ期・Ⅱ期の研修に参加し老健施設でのリスクマネジャーの役割・必要性等多くの知識を学ぶ事が出来ました。学んだ事を活かし今後の施設でのリスクマネジメントや資格取得に繋げていきたいと思っています。

※東日本大震災の被災者が

震災後に学んだ事(一例)

①震災時は車のガソリンは行列で5時間待ち、一台10000円のみと限定されていた。

・日頃から車のガソリンが3/4になったら満タンに入れている。

②震災時は停電状態で情報取得が困難であった。

・手動充電式のラジオを備えておいた方が良い。
(日本製のラジオが良い)



受講を終えた、2人は今年7月に「リスクマネージャー資格認定試験」を受験します。

ケアの質を上げる研修会へ参加

入所利用者様の心身の状態を分かりやすく説明
できるようにします。

介護支援専門員 浦崎 亜由美

平成29年1月17日に大阪市内で全老健主催「ケアの質を上げる研修会」に看護師、理学療法士、支援相談員、介護支援専門員等各職種4名で参加しました。

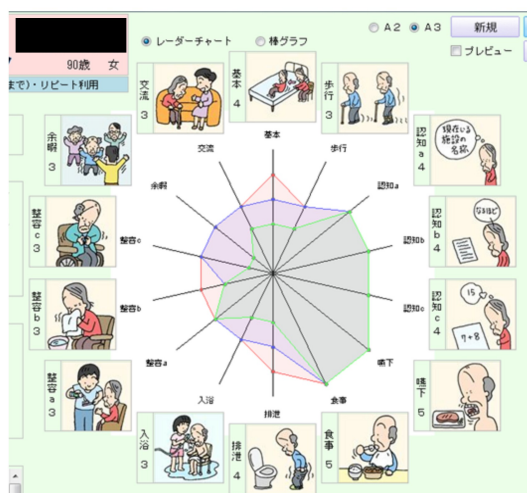
私達老健は常にケアの質の改善を目指す必要がありますが質をどう評価するのか、また、どう測るのかこれまで難しい課題でした。研修会で「利用者の笑顔はケアの評価ではない」と発言され、根拠ある評価の提示の必要性を感じました。

そこで当施設運営会議で検討した結果、現在使用しているR4ステージング評価(下図)をご本人、ご家族と共有できるように、「ご面談時の説明資料」として使用してはどうか」と検討致しました。

R4ステージングは施設内の各専門職が、利用者様の状態を3か月ごとに評価したものです。どの分野が良くなり、どの分野が不十分なのか、できないのかを図表にすることで分かりやすくなります。今まで言葉で、お伝えしていましたが、書面と照

らし合わせ説明させて頂く事で3カ月の変化が分かりやすく出てきます。

今後更に利用者様にとって質の良いケアを提供できるように努力していきたいと思っています。



▲ご利用者様の身体機能、ADL能力、認知機能の程度がグラフ化されたシートを使用する事で、ご家族にも分かり易い説明が可能となっています。

タクティールケアを学ぶ

介護福祉士 福田 美香
介護福祉士 上崎 里菜

タクティールケアの発祥はスウェーデン。一九六〇年代、看護師らによりメソード(方法)ができ、日本では二〇〇六年からタクティールケアとして乳幼児から高齢者の健康な方から看護や介護の必要な方まで様々な場面で幅広く活用されている。

タクティールとは「触れる」という意味があり、両手で10分程、背中や手、足を柔らかに包み込むように触れる。マッサージとは違います。

- ①相手と向き合い②決まった手順で③ゆっくりと④相手の皮膚に自分の手を密着させて⑤できるだけ目線の高さを同じに行います。

効果として…

▽穏やかさと安心を感じ夜

間の入眠効果も期待できる。
▽身体認識の向上を促す。
▽QOLの改善と継続の可能性ある。
▽術者自身も穏やかさと安心を感じる。

2月4日の研修会では実際にケアを実施している動画が流され利用者様の変化も見る事ができました。最後には講師の実技も見ることができ、手技を学びたいと感じました。そして、当施設でも活用できるように、今後も研修会等へ参加していきたいと思っています。



歯科口腔外科から

天草中央総合病院

歯科医師 廣田 溪

歯周病と口腔ケア

最近歯磨きの時によく出血する、歯と歯の間に食べ物が詰まりやすくなった、歯ぐきが赤く腫れているなどが思い当たる方は歯周病になっているかもしれません。

歯周病は口腔内の細菌によって引き起こされる炎症性の病気です。歯と歯肉の境目（歯周ポケット）の清掃をしていないと、そこに多くの細菌が停滞し、歯ぐきに炎症を起こしたり、歯を支える骨を溶かしたりします。骨が溶けるとさらに細菌は奥まで進んでいき、歯ブラシだけでは汚れ・細菌はとれなくなります。そして最終的には支える骨がな

くなり、歯が抜けやすい状態に陥ってしまうという口の中の進行性の病気です。

成人以降では、歯の喪失原因は虫歯ではなく、歯周病が主であると言われています。日々の歯磨きでは、歯の表面ではなく、歯と歯ぐきの間を重点的に清掃するように心がけましょう。気になる方は歯科医院で歯周病の検査を行います。



▼平成27年4月から歯科医師・歯科衛生士に協力を頂き、経口摂取の取り組みの指導と助言を受けています。



認知症ケア専門士から

認知症も早期診断・早期治療が大切！

萬谷 郁美

認知症の症状が現れても「年のせいだから」「もともとの性格だから」と症状を見過ごすことが多く早期に病院へ受診する方はまだまだ少ない状況です。治る病気や一時的な症状の場合もあり、脳外科的な処置や、内科的な治療、

薬の調整なので症状が改善する可能性もあります。このような症状を見落とし長期間放置すると、脳の細胞が死に恒久的な機能不全に陥る恐れもあります。自己判断をせず一日も早い受診が必要です。

認知症早期発見の目安

(認知症と家族の会作成)

物忘れがひどい	☐ 今、電話を切ったばかりなのに電話相手の名前を忘れる ☐ 同じことを何度も言う・問う・する ☐ しまい忘れ、置き忘れが増え、いつも探し物をしている ☐ 財布・通帳・衣類などを盗まれたと人を疑う
判断・理解力が衰える	☐ 料理・片付け・計算・運転などのミスが多くなった ☐ 新しいことが覚えられない ☐ 話のつじつまが合わない ☐ テレビ番組の内容が理解できなくなった
場所・時間がわからない	☐ 約束の日時や場所を間違えるようになった ☐ 慣れた道でも迷うことがある
人柄が変わる	☐ 些細なことで怒りっぽくなった ☐ 周りへの気づかいがなくなり頑固になった ☐ 自分の失敗を人のせいにする
不安感が強い	☐ 一人になると怖がったり寂しがったりする ☐ 外出時、持ち物を何度も確かめる ☐ 「頭が変になった」と本人が訴える
意欲がなくなる	☐ 下着を着替えず、見だしなみをかまわなくなった ☐ 趣味や好きな番組に興味を示さなくなった ☐ ふさぎ込んで何をするにもおっくうになり、嫌がる

リハビリ科から

作業療法士 樋口 美寿々



非利き手で字を書いてみる

一度は試したことがある非利き手での書字。必要にかられた方もいらつしやるかと思えます。しかし、お年を重ねてしまうと断念してしまいがちです。実はちよつとしたコツで上達が早くなります。

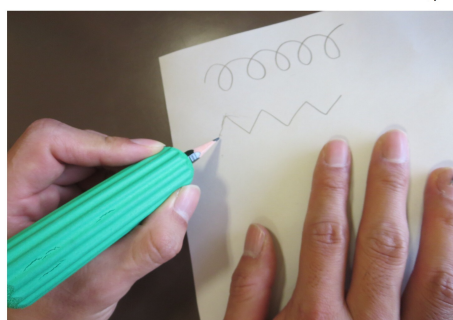
まずはイメージする事です。これは書字だけでなく何をするにもとても必要です。モチベーションだけでなく脳への指令としてもとても大事な事なのです。

次に注意する事は①肩は上がっていないか②腕や手首、指に力が入っていないか③机から手が浮いていないか④小指に向けて軽く握りこむ、これらを確認してみましよう。

実際に書く際はまず、直線・ギザギザ・くるくるっと書いてみます。手首や腕で字を書いていないか、指を動かしているか

確認しましょう。力が入らず慣れてきたらなぞりがきをしてみます。また、握り部分（グリッパ）を太くすると無駄な力が入らずにすみます。

ペンでの練習ばかりでなく、指の単独の運動でゴルフボールやコインを人差し指・中指・親指でコロコロ回す等も行ってみてください。すぐには自然に書けません、一度習得すると忘れません！指先の運動は認知症予防にもなります。ゲーム感覚で取り組みましょう。



栄養課から

管理栄養士

野口 真美

介護食 魚料理

魚は肉と比べると噛みやすく食べやすい食材ですが、加熱することによって身がしまって固くなったり、パサパサしたりするものがあり、口の中でまとまらず飲みこむことが困難な場合もあります。左に魚料理の一例を紹介します。

◎魚の調理のポイント

- ・脂肪または水分の多い魚を選ぶ・・・かれい、タチウオ、いわし、たらなど
- ・刺身の場合は筋の少ないマグロの赤身、トロ、甘エビ、ホタテの貝柱などが食べやすい
- ・焼魚より煮魚、揚げるだけより揚げ煮にする
- ・煮魚の場合は煮汁にとろみをつける
- ・ほぐしてあんをかける
- ・油脂類を利用しパサつきをなくす
- ・ホイルに包んで蒸し焼きにする

鮭のタルタルムニエル

(材料2人分)

- ・鮭切り身 2切れ
- ・塩、こしょう 少々
- ・小麦粉 適宜
- ・白ワイン 大さじ1
- ・サラダ油 大さじ1/2

☆タルタルソース

- ・マヨネーズ 大さじ1
- ・玉ねぎのみじん切り 大さじ1
- ・ゆで卵 1個
- ・塩・こしょう 少々

(作り方)

- ①ゆで卵はみじん切りにしておく。
- ②鮭は塩、こしょうをふり、薄く小麦粉をまぶしておく。
- ③フライパンに油を熱し、鮭を両面焼く。
- ④鮭にタルタルソースをのせ、まわりに白ワインを回しかけて蓋をし2～3分蒸し焼きにする。
- ⑤器に盛りつける。彩りにパセリのみじん切りを散らす。



今月は**福祉用具、住宅改修**についての説明です。
福祉用具の購入に関しては主に入浴、排泄関係です。

	要介護1～5	要支援1・2
特定福祉用具販売 (福祉用具購入費の支給)	入浴や排泄などに使用する用具を販売し、その購入費を支給 (年間10万円を上限)	入浴や排泄などに使用する福祉用具のうち介護予防に役立つ用具を販売し、その購入費を支給されます。
特定介護予防福祉用具販売	・腰掛け便座 ・入浴補助用具 ・自動排泄処理装置の交換可能部品 ・簡易浴槽 ・移動用リフトのつり具	・腰掛け便座 ・入浴補助用具 ・自動排泄処理装置の交換可能部品 ・簡易浴槽 ・移動用リフトのつり具

■都道府県等の指定事業者から購入した場合のみ、福祉用具購入費が支給されます。

■事業所ごとに「福祉用具相談員」が配置されています。

住宅改修費費用	手摺りの取り付けや段差解消などの住宅改修をした際、20万円を上限に費用を支給されます。	介護予防に役立つ手摺りの取り付けや、段差解消などの住宅改修をした際に20万円を上限に支給されます。
介護予防 住宅改修費支給		

事前の申請が必要です。

■住宅改修、福祉用具の購入について分からない方、もっと聞いてみたい方は担当ケアマネージャーへ相談して下さい。

さわやか介護教室 ～転ばぬ先の介護準備～

と き： 平成29年3月11日(土)

場 所： 天草中央総合病院

附属介護老人保健施設

時 間：(受付9:00) 9:30～開始 11:50終了予定

参加費：無料

テーマ：「介護食のリメイク術」

「始まります総合事業」

「何でも座談会」

定員40名 どなたでも参加OKですが事前予約が必要です。

お問い合わせは 当施設支援相談員：萬谷・芹田・宗像まで

Tel22-2111

参加者募集!

天草中央総合病院

附属介護老人保健施設の事業

○長期入所・短期入所療養介護

○通所リハビリテーション

(月曜日から金曜日)

○訪問リハビリテーション

(訪問地域は旧本渡市内)

○居宅介護支援センター



※次号は平成29年5月1日 発行予定です

あとがき
子どもの頃、クレヨンしんちゃん、ドラえもん等のテレビ漫画をよく見ていました。大人になつて見る機会はなかったのですが、子供ができて、あるきっかけでアンパンマンショーを見に行きました。ショーの最後の記念撮影会には長蛇の列が出来る人気ぶりでした。私もその列に並んだ一人です。今見ると、悪役のバイキンマンがストーリーでいい味を出しています。アンパンマンやバイキンマン程でなくとも、良い味を醸す大人になりたいものです。

K・Y

これからの行事

☆3月11日(土) さわやか介護教室

☆3月17日(金) 誕生会

☆3月28日(火) 天草市移動図書
13:30～

☆4月17日(月) 誕生会

